

僑校校長陳淑豔無私奉獻 深耕日本文化交流 三度獲地方政府表揚

#

大阪弁天町臺灣華語教室

活動時間：2025-05-09

大阪弁天町臺灣華語教室為僑務委員會備查僑校，該校校長陳淑豔長年致力於台日民間文化交流與正體華語教學，2024年更積極投入日本各地推動的多文化共生與國際理解教育工作。陳校長不僅以無償參與、主動提供文化資源的方式推動台灣文化，更在短短一年內三度獲得日本地方政府頒發感謝函與感謝狀，顯現其民間外交貢獻獲得當地社會高度肯定。

大阪市民局於2025年4月25日更新官網「多文化共生社區建設推進區域計畫支援事業」成果專頁，公開表揚陳淑豔校長於2024年度積極參與「日本x台灣料理交流會」及「多文化市集」等官方交流活動。在活動中，陳校長無償擔任志工講師，指導市民親手製作台灣傳統湯圓，提供100份湯圓與在地百位居民分享，並親自教導現場民眾說華語，藉由美食與語言的親切互動，傳達台灣文化的溫度與價值，促進當地對台灣的理解與認同。

大阪市民局長加藤憲治特別致函表示：「陳淑豔校長不僅成為促進國際友誼與文化理解的契機，也作為大阪市實踐多元文化共生社會的示範案例之一，意義深遠。」該活動成果及陳淑豔校長專訪，已在市民局官方網站與YouTube頻道公開發表，展現台灣僑校教師在日本社會深耕的影響力。

除了大阪地區，陳校長亦支援日本四國香川縣琴平町於2024年舉辦之「第二屆台灣祭・台灣夜市 in 琴平」活動。為深化在地民眾對台灣文化的感知與體驗，她特別提供融合傳統與創意元素的文化素材，包括客家擂茶體驗組、原住民族風頭飾手作材料及台灣文創作品，協助主辦方設置多感官互動展示區，讓當地居民透過味覺、觸覺與創作參與，親身感受台灣文化的多元面貌與生活美學。活動結束後，琴平町町長片岡英樹頒發感謝狀，表彰其對市政文化活動的重大貢獻。

2024年11月，陳淑豔亦應邀擔任東大阪市教育局「Colorful Communication」多文化教育推進事業特別講師，前往英田南小學為近百位五年級學生介紹台灣的地理、語言（含方言）、節慶與民俗文化，深受學生與學校歡迎。2025年3月，東大阪市教育局頒發感謝狀，肯定其對日本學齡層台灣文化基礎認知之推動。

陳淑豔校長表示：「台日交流需要長期耕耘，更需要願意主動奉獻的人。每一碗湯圓、每一張文化卡片、每一次對話，都是文化的橋梁。」她並強調，作為一所僑委會備查僑校的校長，自己有責任讓台灣文化在日本被真實理解與感受。

從市民活動、校園教學到文化市集，陳淑豔校長以堅定信念與行動，詮釋了民間文化外交的力量。她的無私奉獻讓「台灣」不僅是國家名稱，更成為溫暖、可親、具文化深度的代名詞，在日本社會中逐漸形塑出具體而鮮明的正面印象。

延伸閱讀

日本地方政府對台灣文化參與之肯定與記錄：

- 大阪市民局「多文化共生社區建設推進區域計畫支援事業」官方成果報導
<https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000622518.html>
- 大阪市民局官方頻道 | 多文化共生推進事業活動影片（含專訪）
<https://www.youtube.com/watch?v=Jw01AqGMxqg>
- 「日本x台灣料理交流會」活動紀錄（市民局官方平台）
<https://kyodo-portal.city.osaka.jp/report/24000028031/>
- 多文化市集中台灣攤位推廣報導（市民局官方平台）
<https://kyodo-portal.city.osaka.jp/report/24000028007/>

2026/1/31 上午 02:29:12

僑校校長陳泓豔無私奉獻 深耕日本文化交流 三度獲地方政府表揚

#

大阪弁天町臺灣華語教室

活動時間：2025-05-09

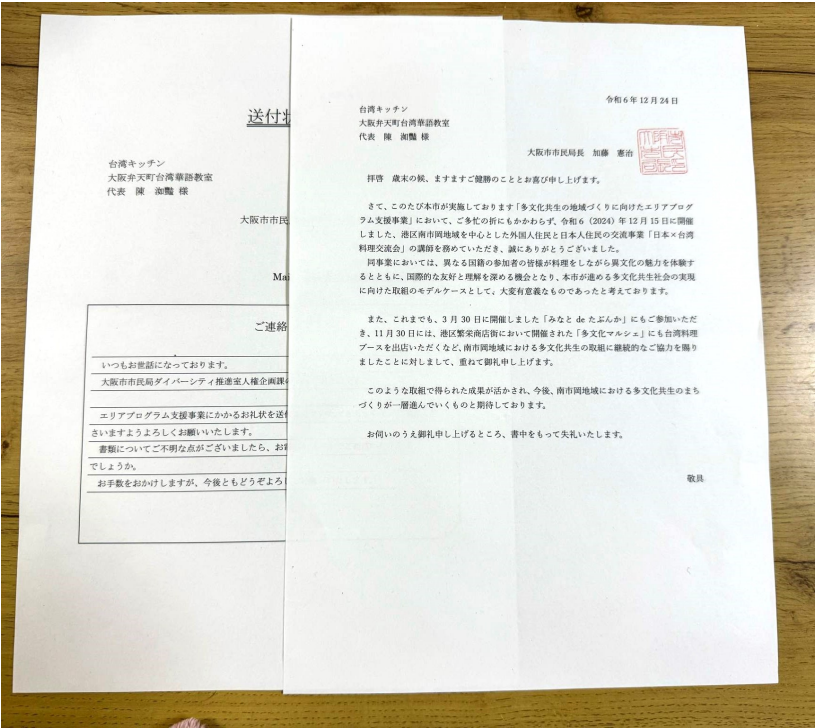


日本四國香川縣琴平町町長的感謝狀

#

大阪弁天町臺灣華語教室

活動時間：2025-05-09



大阪市民局局長的感謝函

#

大阪弁天町臺灣華語教室

活動時間：2025-05-09



陳校長到英田南小學為近百位五年級學生介紹台灣

ホーム > みんなの活動報告 > 港区「日本×台湾 料理交流会」を開催しました



みんなの活動報告

投稿日：2024.12.27

港区「日本×台湾 料理交流会」を開催しました

一般財団法人日本国際協力センター 関西支所

多文化共生 港区

シェア ポスト LINE

みんなの活動報告内容

12月15日 港市民センター（港区土地区画整理記念・交流会館内）にて、「お正月」をテーマとした日本人住民と外国人住民の料理交流会を実施しました。

この日は日本人住民16名、外国人住民17名（台湾、インド、シンガポール、中国、パキスタン、フランスといった様々な国と地域の方々）が参加し、日本人住民・外国人住民混成の4グループに分かれて、台湾の湯圓（タンユエン）と日本のお雑煮を作りしました。

湯圓は、五色の白玉団子を丸めてゆで、黒糖生薑シロップと一緒に食べるお正月の料理で、弁天町駅近くにある「台湾キッチン」の陳淑豔（チン・ジョエン）さんを講師に迎え、作り方を教えていただきました。講師の陳さんからは、作り方の説明だけでなく、縁起の良い言葉が書かれた「春聯（チュンリエン）」という赤い紙を参加者に配り、その言葉の意味についても解説していただき、グループで和気あいあいと見せ合う様子が見られました。日本人住民の方からは「台湾と日本の料理の共通点、違った点を知ることができてよかった」という感想がありました。日本のお雑煮をはじめて食べた外国人住民の方々の中には「すごく美味しかった。お正月に作ってまた食べたいです」と話す方もいました。そして「とても楽しい経験になった。ぜひ来年もイベントを続けてほしい」という声がかれました。

同じ分野のみんなの活動報告を見る



地域活動の『若い担い手』がたどったストーリー



待ちに待った・・・初めての“わっしょい北沢”



1分動画「100人リレーチャレンジ」：【入浴サービス株式会社】様 公開されました！



1分動画「100人リレーチャレンジ」：【東淀シニアお元気活動サポート協会】様 公開されました！



世代間交流北鶴橋地域益隣り大



東大阪市教育委員會的感謝狀